

令和2年度
芸分祭

仁義礼智信

~The world sends us virus. We send back smiles.~

芸分祭

令和2年度
芸分祭 仁義礼智信
~The world sends us virus. We send back smiles.~



2年 劇「鬼滅の刃～芸北襲撃編～」

1年 劇「千と千尋の神隠し？」

3年 有志によるダンス・漫談・模擬店（おでん、焼きそば、さつまいもスティック）

高校生最後の芸分祭！「楽しみました」

仁義礼智信



芸北教育

芸北分校
広島県立加計高等学校

311号
令和2年
～12月～

全国から入学できます！ 男子寮、下宿、女子寮、下宿完備。町から月一万円の補助制度あり。見学随時可能。
(電話) 〇八二六・三五・〇七二六

11月15日(日) 芸分祭を開催しました。昨年は、地域の方と共に、芸北文化ホールをお借りして、二日間の日程で行いましたが、今年度は芸北分校を会場として1日のみの開催とし、来場者は保護者等、家族のみとしました。
今年度のテーマは「仁義礼智信」
The world sends us virus. We send back smiles. 生徒会の生徒が中心となって考えました。
『五条の徳』である、優しい心・強い心・感謝の心・正しい心・正直な心、要は人を裏切らず、礼儀正しく、真心を込めて筋道を通す

といった思いを込めながら、笑顔で新型コロナウイルス感染症を吹き飛ばそうということ。1年生は何もかもが初めての芸分祭でありましたが、**一生懸命**さが伝わってきました。2年生はまさしく芸分を中心となって**フル回転**の大活躍です。3年生は進路決定に向けて時間のな
い中での取組となりま
したが、教職員からは「**さすが3年生**」という声が聞こえてきました。それぞれの持ち場において**陰となり陽**となりの活躍でした。

生徒振り返りアンケート（抜粋）

1年 ●劇のリーダーとしての危機感のなさを痛感した。最後は突貫工事で何

とか間に合ったが、皆を混乱させて**申し訳なかつた**。●コロナの影響でクラス
の団結力があまりないま
まで不安だった。皆が
段々と本気で見ている人
を楽しませようと工夫が
できた。一人ひとりが殻を
破り、**恥ずかしさを捨てて**
取り組まなければならな
いと思つた。

●体育祭の時にも感じた
団結力を再び味わうこと
ができた。前日の準備から
当日の片づけまでしつ
かりやり切る芸分生はす
ごいと思つたと同時に自分
がその**一員である**ことが
うれしかった。

2年 ●芸分祭が近づくにつれて準備等が増えていき大変だったが、来場者か

ら「面白かつた」「楽しかつた」と言われ、上手かつたのかなと感じた。来年は今年度の反省を生かし**改善したい**。

3年 ●準備の期間が短い中で全学年レベルの高いものができたと思う。いつもとは違う環境だったけど**さまざまなことを考え**て企画できていた。来てくださつた方も楽しんでくれた様子だったのでよかつた。規模は去年よりも小さかつたけど楽しむことができた。





伝統の神楽部



バンド同好会

「書道」「美術」「家庭」「農業」作品展示



「英語会話」
英語寸劇「名探偵コナン」



「音楽」演奏

芸北の空



🌸春は大地が息づく季節
眠りから覚めて 葉を揺らすはブナの森
日差し眩しく友を照らす夏
風は優しくそよぎ 揺れるササユリ
移りゆく季節を 変わらず包み込む空

※きつとずっと忘れない ここでめぐりあ
えたこと いつまでも変わらないでいて
この**芸北の空**のように※

秋は鮮やかに色づく木々
真つ赤な夕日が 頬を染める帰り道
「しーん」と静まり返る冬の日
真つ白い雪の向こうで 君が微笑んだ
過ぎゆく季節を 変わらず包み込む空

※高くどこまでも羽ばたいてゆく僕らだけで



えるまで生徒や実習の先
生は最高のリンゴを目指
し、日々**丹精込めて**管理作
業を行いました。美味しく
召し上がっていただけると
幸いです。



11月10日
(火)中高合
同で「ふじ」
を収穫しま
した。この収
穫の日を迎

連携型中高一貫教育
中高合同リンゴ収穫体験

ソフトテニス部

広島県ベスト8!!



「この度、県新人戦団体で8位入賞となりました。順位決定戦ではチームが一つになって戦いましたがどのチームもレベルが

高く衝撃を受けました。ここまで成果を出すことができたのは先生方、地域の方

のご協力のおかげです。これからも感謝の気持ちをプレーで返すことができるように日々練習していきます。」(部長 山元梨寿)

保幼高連携

家庭「子ども文化」農業「グリーンライフ」

11月24日(火)家庭「子

ども文化」では、さつきヶ丘子ども園、農業「グリーンライフ」では、芸北つくし保育園と交流を行いました。「芸分生手作りの遊び道具」「りんご・冬野菜収穫体験」それぞれが『芸分』でできる体験!』を考えてお兄さんお姉さんぶりを発揮しました。

溢れんばかりの笑顔でいっぱい!



芸北高原米

「銀の雫(しずく)」

昨年末、芸北地域担い手ネットワーク協議会から精米商品芸北産「あきたこまち」のネーミング募集の依頼があった。芸北分校生徒及び教職員がそれぞれの思いを乗せて考えた。

- 「芸北の輝き」
 - 「ゆきんこ米」
 - 北広島の恵み「芸北あきたこまち」
 - 白銀の粒「芸北」
 - 北雪米(ほくせつまい)
 - 「芸北の星」
 - 「雪月華」(せつげっか)
 - 「芸北一番星」
 - 芸北夢力(ゆめちから)
 - 芸北の呼吸 参の型 流流米
 - キタヒロコマチ等々約100点近くを応募した。
- その中から「芸北高原米」「銀の雫(しずく)」が選ばれた。

また、このお米は秋の収穫を感謝する宮中行事「新嘗祭(にいなめさい)」に広島県代表として献上されたものである。

先日、ネーミングのお礼として感謝状と「銀の雫」100キロを頂戴した。全校生徒にいきたるるように個々のジップロックを用意し、オリジナルシールを作成して冬季休業前の三者懇談等で配付する予定である。是非とも感謝の気持ちを持っていただきたいものである。

太公望球児

